

活性ろう材

ろう材	組成重量 (%)				活性材	溶融範囲 °C	作業温度 °C	母材
	Ag	Cu	In	他				
BrazeTec								
CB1	75	20	5	-	チタニウム	730-760	850-950	セラミックス
CB2	100	-	-	-		970	1000-1050	セラミックコンポジット
CB4	72.5	27.5	-	-		780-805	850-950	グラファイト
CB5	65	35	-	-		770-810	850-950	ダイヤモンド
CB6	99	-	1	-		948-959	1000-1050	シリコンナイトライド
CB10	70	30	-	-		780-805	850-950	セラミックス
CB11	100	-	-	-		970	1000-1050	グラファイトガラス

- 注1) セラミックろうは、通常 850°C以上の温度で作業を行って下さい。より高温で作業致しますと、セラミックスへの濡れ性が改善されます。
- 2) 銀は比較的高い蒸気圧をもっておりますので、真空中でろう付を行う場合、注1)の但し書きにもかかわらず、1000°Cを越えないようにして下さい。もし、1000°Cを越える場合には、アルゴン雰囲気で行って下さい。
- 3) ろう付はアルゴン雰囲気が真空中 (10^{-2} Pa = 10^{-4} mbar 以下)で行って下さい。
- 4) Ti は水素、窒素と親和力が高く、雰囲気中の水素、窒素と反応しますので、濡れ性・強度とも劣化します。ろう付雰囲気は注3)に述べました様に、アルゴン・真空中でろう付作業を行って下さい。

お問い合わせ先：

ユミコアジャパン株式会社

テクニカルマテリアル ロー付け材料

東京 Tel 03-5413-9338 Fax 03-5413-9313